

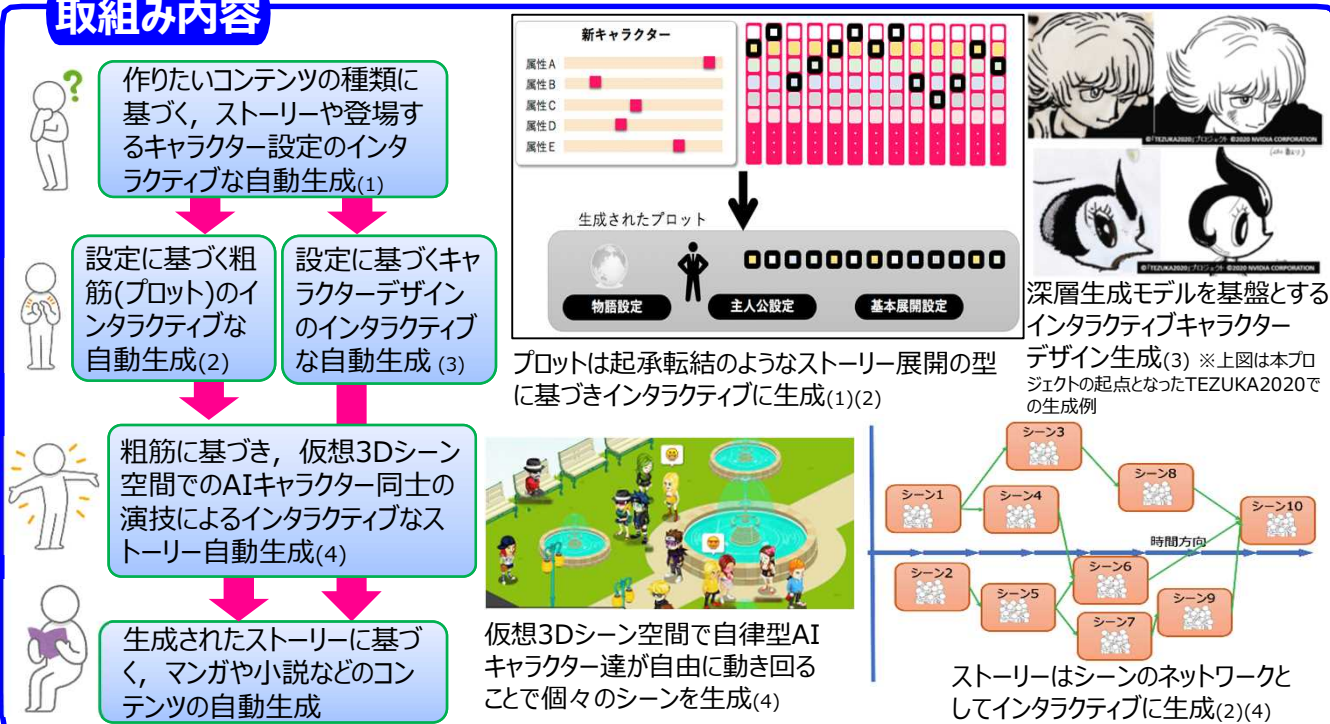
インタラクティブな ストーリー型コンテンツ創作支援基盤の開発

背景・狙い

- 小説やマンガ、TV番組や企業プロモーションといったストーリー性のあるコンテンツの生成において、人がより高い創造性を発揮することを可能とする共創型AIサポートシステムの実現を目指す。
- 人とAIとのインタラクティブなやりとりによりコンテンツを生成する。

キーワード 創造支援, インタラクション, 自律エージェント

取組み内容



想定されるアプリケーション

- 人も苦勞する創造的活動を支援し、より円滑かつより高い創造力の発揮を可能とするAIシステム。
- 加速する少子高齢化社会において、効率化のために利用される現在のAIではなく、人ならではの能力である創造的能力向上を目的とし、Society5.0やDX推進による多様なコンテンツ需要の急増に対応できる基盤としてのAIシステム。
- 人が操作するツールではなく、有用で気が利く助手とのやりとりのような感覚で、より高い創造性のあるコンテンツの生成を可能とする、インタラクティブ性の高いAIシステム。

研究開発テーマ名：「インタラクティブなストーリー型コンテンツ創作支援基盤の開発」
委託先・再委託先：慶應義塾大学, 東京大学, 電気通信大学, 立教大学, 公立はこだて未来大学, ネオンテトラ, 手塚プロダクション, エッジワークス, Ales, ヒストリア
主要研究者：栗原聡(慶大), 松原仁(東大), 三宅陽一郎(立教大), 稲葉通将(電通大), 村井源(未来大)
WEBサイト：<https://sites.google.com/view/nedocontents/>

